



## 【OS】 高齢者 × メタバーズ × ELSI

[Organized Session] Older adults, Metaverse, and ELSI

主催：超高齢社会の VR 活用研究委員会

SIGVRAS: Special Interest Group on Virtual Reality for an Age-friendly Society

共催：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム 超臨場感/ICT 超高齢社会活用 WG

檜山敦<sup>1)</sup>, 二瓶美里<sup>2)</sup>, 畑中綾子<sup>3)</sup>, 土屋裕子<sup>4)</sup>, 菅原育子<sup>5)</sup>

Atsushi HIYAMA, Misato NIHEI, Ryoko HATANAKA, Yuko TSUCHIYA and Ikuko SUGAWARA

1) 一橋大学 (〒186-8601 東京都国立市中 2-1, atsushi.hiyama@r.hit-u.ac.jp)

2) 東京大学 (〒277-8563 千葉県柏市柏の葉 5-1-5, mnihei@edu.k.u-tokyo.ac.jp)

3) 尚美学園大学 (〒350-1110 埼玉県川越市豊田町 1-1-1, hatanaka@iog.u-tokyo.ac.jp)

4) 立教大学 (〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1, yuko@rikkyo.ac.jp)

5) 西武文理大学 (〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田 311-1, sugawara@bunri-c.ac.jp)

**概要：**高齢期において齢を重ねていく中で VR のようなテクノロジーを生活の中に上手く取り入れることで豊かな繋がりや日常を自らデザインすることができるようになる可能性がある。その反面、心身の衰えの中でのリアリティがどのようなものになっていくのか、心身へのさらなる影響はどのようなようになっていくのかは未知の領域で、テクノロジーの発展と共に議論を重ねていく必要のあるトピックである。本セッションでは、高齢期における VR や人間拡張技術の可能性と ELSI について各分野の専門家を交えて議論を深める。

**キーワード：**高齢者, メタバーズ, ELSI

### OS 趣旨

国内外において、バーチャル旅行体験やゲームを活用したレクリエーションやリハビリテーション等、VR 関連技術の福祉応用が幅広く展開し始めている。超高齢社会の VR 活用研究委員会では、これまでに高齢者の「Quality of Life の向上」や「生きがい」、「移動支援」、「リハビリテーション」等、多様な分野での VR 技術の可能性について議論を行ってきた。高齢者、そして超高齢社会に対して VR 技術が展開できる領域は益々拡大していくと考えられる。

その一方で、テクノロジーが生活の中に深く入り込んで行けば行くほど、その結果として従来想定していなかった新たな課題を生じさせる可能性に対しても意識を向けていくことは、技術をより豊かな未来を創出する方向で成長させていくためには必要な議論となる。テクノロジーに纏わる、ELSI: Ethical, Legal and Social Issues に対する関心が年々高まっていることもその社会的な要請を表しているといえる。昨今では生成系 AI の発展に伴い、その活用

に対する議論が沸き起きている。生成系 AI は、VR 技術やメタバーズの世界をまた新たなステージに移行させていく可能性を持つものであると捉えられる。AI と融合した VR 技術や人間拡張技術により、高齢者の身体や情動、意思決定に対して作用を及ぼすことのできる領域も拡大していくことが想像される。また超高齢社会に対応して社会システムのアップデートに対しても少なからず影響を与えることになるであろう。

以上の背景より、本 OS では、「高齢者 × メタバーズ × ELSI」というタイトルで、これからの VR や人間拡張技術が高齢者や超高齢社会にアプローチしていくことの可能性と、その結果として想定される ELSI について議論を深めていく。ディスカッションは、工学的な視点から二瓶氏と檜山氏がテクノロジーの展望を述べる。畑中氏と土屋氏は ELSI の観点から課題を抽出し議論を投げかける。菅原氏が社会学的視点から超高齢社会に資するテクノロジーと ELSI との関係について俯瞰的に論じ、議論を展開する。